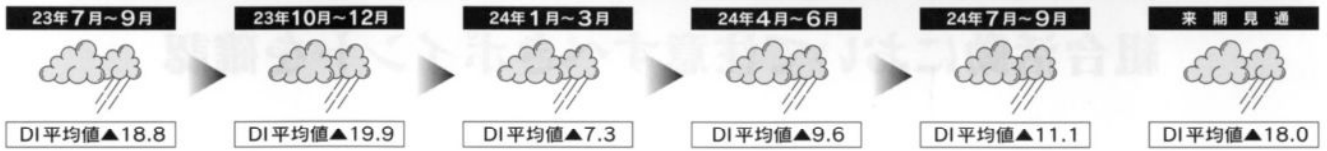


県内中小企業(製造業)景況動向

平成24年7月～9月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
7.8	▲5.8	▲21.7	▲19.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは▲26.7で、両方を合わせたD I平均値は▲21.7となり、「小雨」模様が継続している。来期見通しは、2.7ポイント上昇して▲19.0となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲35.8、収益性D Iは▲29.6となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲3.6、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は27.6%となった。</p>			

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲1.2	▲20.1	▲24.3	▲22.1
<p>前年同期比の売上高D Iは▲27.3、収益性D Iは▲21.2で、両方を合わせたD I平均値は▲24.3となり、「小雨」模様が継続している。来期見通しは、2.2ポイント上昇して▲22.1となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲20.6、収益性D Iは▲20.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは4.2、設備操業率D Iは▲13.7、設備投資実施率は2.9%となった。</p>			



概況

売上高と収益性を合わせたD I平均値(前年同期比)については▲11・1となり、前回調査(24年4-6月期)から1・5ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲18・0となっている。売上高D I(前年同期比)については▲9・5となり、前回から0・2ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲15・9となっている。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が10・1%、「下降」したとする企業が

22・6%で、D Iは▲12・5となり、前回から8・9ポイント下降している。

収益性D I(前年同期比)は▲12・6となり、前回から3・2ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲20・1となっている。

業況(前年同期比)については、「好転」したとする企業は18・7%、「悪化」したとする企業は30・3%で、D Iは▲11・6となり、前回から0・8ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲14・3となっている。

原材料価格D I(前期比)については▲0・6となり、前回から

7・4ポイント下降している。





販売価格D I(前期比)については▲9・8となり、前回から0・2ポイント下降している。

資金繰りD I(前期比)については▲11・6となり、前回から3・2ポイント下降している。

金融機関の態度D I(前期比)については0・0となり、前回から1・0ポイント下降している。

設備投資実施率は23・7%となり、前回から5・2ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは「プラスチック製品」の50・0%となっており、目的別では「品質向上」が40・5%でトップであった。





紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲50.0	▲28.8	▲47.1	▲55.9
<p>前年同期比の売上高D Iは▲47.0、収益性D Iは▲47.1で、両方を合わせたD I平均値は▲47.1となり、「雨」模様になっている。来期見通しは、8.8ポイント下降して▲55.9となり、「雨」模様が続き見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲29.4、収益性D Iは▲29.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲5.9、設備操業率D Iは▲31.2、設備投資実施率は23.5%となった。</p>			





木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲9.1	▲50.0	▲38.9	▲22.2
<p>前年同期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲44.4で、両方を合わせたD I平均値は▲38.9となり、「雨」模様が継続している。来期見通しは、16.7ポイント上昇して▲22.2となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲11.1、収益性D Iは▲33.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲25.0、設備操業率D Iは▲22.2、設備投資実施率は12.5%となった。</p>			

金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲12.1	15.8	▲1.4	▲24.3
<p>前年同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲2.8で、両方を合わせたD I平均値は▲1.4となり「曇」模様に転じている。来期見通しは、22.9ポイント下降して▲24.3となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲22.2、収益性D Iは▲16.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲12.5、設備操業率D Iは▲25.0、設備投資実施率は29.8%となった。</p>			





窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲23.8	▲42.5	19.6	4.4
<p>前年同期比の売上高D Iは26.1、収益性D Iは13.0で、両方を合わせたD I平均値は19.6となり「薄日」模様に転じている。来期見通しは、15.2ポイント下降して4.4となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲4.4、収益性D Iは▲5.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは11.1、設備操業率D Iは0.0、設備投資実施率は22.7%となった。</p>			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
50.0	10.0	▲8.3	16.7
<p>前年同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲16.6で、両方を合わせたD I平均値は▲8.3となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、25.0ポイント上昇して16.7となり、「薄日」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲33.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲16.6、設備投資実施率は50.0%となった。</p>			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲1.1	4.6	1.1	▲9.9
<p>前年同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは2.2で、両方を合わせたD I平均値は1.1となり「曇」模様が継続している。来期見通しは、11.0ポイント下降して▲9.9となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは2.1、収益性D Iは▲2.5となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは2.6、設備投資実施率は31.1%となった。</p>			